

## cobas® b 101 plus &lt;CRPシングル&gt;測定手順

cobas b 101 plus  
CRP  
測定試薬ディスク測定環境  
測定可能温度：15~32℃  
測定可能湿度：10~85%

①患者様の手を石鹸で洗い、十分に乾燥させます。



②【患者測定】を選択します。



③CRP測定試薬ディスクを袋から取り出した後、ヒンジカバーを完全に開けます。



④アルコール消毒綿で穿刺部位(中指または薬指)の側面を消毒します。



⑤指先の側面をランセットで穿刺します。



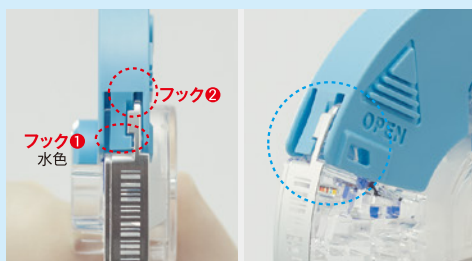
⑥測定に必要な血液12μL以上(ディスク表面参照)を指先に滴状にします。



⑦写真○のようにディスク吸引ポイントから血液をディスクに吸引させます。



⑧ディスクを裏返し、青色で囲まれた領域が血液で完全に満たされたことを確認します。



⑨ヒンジカバーが「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じ、フック1がフック2に引っかかっていることを確認します。



⑩【開く】を選択し、装置の蓋を開けます。



⑪ディスクをヒンジカバーの文字面を上にした状態でターントーブルにセットし蓋を閉めます。なお、蓋が閉めにくい場合は、ディスクが正しくセットできていない可能性がありますのでセットし直してください。



⑫自動的に測定が開始され、約4分後に測定結果が表示されます。

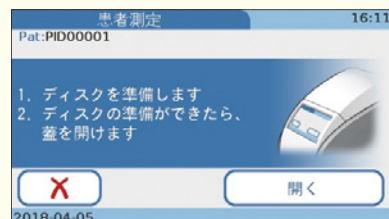
手順⑦で血液が吸引ポイント以外に付着したり、手順⑨でヒンジカバーを「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じていないと、測定が正しく行われただけでなく、装置内部に血液が飛散し、汚染や故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください！

# cobas® b 101 plus <CRPシングル>測定有効化手順と注意事項

- ◆CRP測定を実施するためには装置に搭載されているソフトウェアのバージョンが**≥2.0.0**であることを確認してください。
- ◆装置のソフトウェアバージョンが<2.0.0の場合は、別売りの「コバス b 101 CRP測定アップデートキット(統一商品コード:518-506148)」を使用して**アップデートを実施**してください。
- ◆CRP測定を実施するためには初めてCRP測定を実施する時に以下の手順に従って**CRP測定の有効化を実行**してください。



①[メインメニュー]>[患者測定]を選択します。



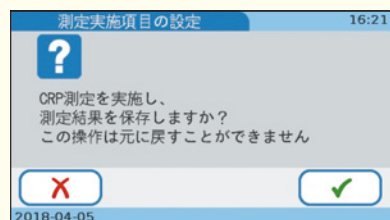
②[開く]を選択します。



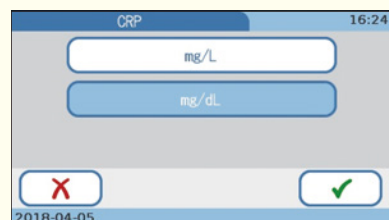
③装置に検体点着済のCRP測定試薬ディスクをセットします。



④蓋を閉じると測定準備を開始します。



⑤CRP測定が有効化されていないことが認識されますので「✓」を選択します。



⑥結果単位を選択します。

以上でCRP測定の有効化は完了です  
(2回目以降の測定時の実行は不要です)。

- ◆試薬ディスクを**冷蔵庫**に保管していた場合は、気温+15~+32℃の環境にアルミパウチに入れた状態で20分以上置いてから測定に使用してください。
- ◆アルミパウチは使用直前に開封してください(開封後は**20分以内**に使用してください)。
- ◆検体は指先の毛細血管全血、EDTA-2K、EDTA-3K、またはヘパリン-Li添加静脈全血及び静脈血漿、血清を使用できます。
- ◆試薬ディスクに血液を吸引させた後は、ヒンジカバーをしっかりと閉じ、**2分以内**に機器にセットしてください。